

次の文章はわが国の森林・林業を規定している法律に関する記述である。文章中の A～D に入るものの組合せとして妥当なものはどれか。

森林・林業基本法は、森林の有する  の発揮と林業の持続的かつ健全な発展の二つを基本理念に、森林および林業に関する政策の基本を定めている。また、森林法は、森林の保続・培養と  の増進を図ることを目的として、、保安林その他の森林に関する基本的事項を定めている。この二つの法律は、わが国の森林・林業を規定している最も基本的な法律であり、最上位に位置しているのは、 である。

- |    | A     | B     | C    | D        |
|----|-------|-------|------|----------|
| 1. | 森林生産力 | 多面的機能 | 森林組合 | 森林法      |
| 2. | 多面的機能 | 森林生産力 | 森林計画 | 森林・林業基本法 |
| 3. | 森林生産力 | 多面的機能 | 森林計画 | 森林・林業基本法 |
| 4. | 多面的機能 | 森林生産力 | 森林組合 | 森林法      |
| 5. | 森林生産力 | 多面的機能 | 森林計画 | 森林法      |

正 答 : 2

林木の成長に関する記述 A～D の正誤の組合せとして妥当なものはどれか。

- A. 林木を含め植物の光合成による生産物は、すべての生物の生活の基礎である。この生産は生態系に特有の物質循環をつくりだしていることから基礎生産という。
- B. 日本の森林の総生産量（光合成の総量）は、年間 30～80 t / ha 程度と推定されており、森林タイプ間の比較では、生産量は落葉広葉樹林 > 常緑針葉樹林・常緑広葉樹林である。
- C. 林木の成長のしかたは、幹、枝、葉、根それぞれの部分によって異なるが、育林において最も重視されるのは、幹の成長である。
- D. 林木の平均成長量が最大となるのは、連年成長量最大の時期より後になる。

	A	B	C	D
1.	正	誤	誤	正
2.	正	正	誤	正
3.	誤	正	誤	誤
4.	誤	正	正	誤
5.	正	誤	正	正

正 答 : 5

トラバース測量の選点にさいしての注意事項に関する記述 A～D の正誤の組合せとして妥当なものはどれか。

- A. 測点の数はなるべく多く、各測点間の距離はできるだけ等しくする。
- B. 測点は、相互に見通しがよく、測角や測距がしやすい点を選ぶ。
- C. 細部測量にも便利に利用できる点を選ぶ。
- D. 測点は、高低差を大きくし、測量地域内に均等に配置する。

	A	B	C	D
1.	誤	正	誤	正
2.	正	誤	正	誤
3.	正	誤	正	正
4.	誤	正	正	誤
5.	正	誤	誤	正

**正 答 : 4**